安 今年も大好評 信茶の販売 8/8・9

高千穂高校生産流通科の生徒が、実習で生産、加工をした釜炒り茶「安信茶」の店頭販売を行いました。

販売会は、流通や地域とのつながりを体感することを目的として、毎年この時期に開催。

3年生の堀幸人（おきと）さんは「安信茶を飲んでもらえてありがたい。昨年と比べてお客さんが多く、売れ行きも良い。これからもおいしいお茶を作っていきたい」と話しました。

後日、これまで以上の販売実績だったとのことで、地域の方への感謝を述べていました。

神 高千穂高校・延岡しろやま支援学校高千穂校 8/31 舞祭（文化の部）開催

『Freely ～自由自在に私たちの青春をつかみとれ～』をテーマに、神舞祭（文化の部）が武道館で開催されました。本来、30・31日の2日間の開催でしたが、台風の影響で29日と30日の2日間休校となったため、急きょ1日のみの開催となりましたが、生徒らは、これまでの準備や練習の成果を発揮するなどし、会場を訪れた保護者や家族、地域の方たちを楽しませました。

地域おこし協力隊の そうなっちゃ！高千穂

5年間お世話になりました！　これからもよろしくお願いします。

44年ぶりにUターンし、協力隊として最大５年（コロナ特例適用）の任期をみなさまのご理解・ご協力のおかげで無事に終了することができました。

この間の活動を振り返ります。

私の担当は、「移住関連業務」。町が委託しているＮＰＯ法人一滴の会に出向し、主に以下の３つの業務に携わってきました。

１）移住相談

高千穂町への移住希望は年々増加し、問い合わせ・住宅案内とも着任当時の2倍になりました。この間、50世帯・114名の移住サポートに関わることができました。

移住希望の方へ提供する情報の整備と質・量の向上に努め、個別の要望（例えば、土日の案内希望等）にも可能な限り応えてきました。

２）移住交流に関する業務

年2回のペースで開催し、毎回、どんな交流会を開催しようかと頭を悩ませました。

一滴の会がNPO法人化して10年を超えたこと、一滴の会が関わった移住支援数が100組を超えたことをお祝いする記念イベントを昨年10月に交流会を兼ねて開催できたことは特に記憶に残っています。

３）空き家の調査や管理に関する業務

本年6月より、後任の甲斐大奨協力隊が「移住関連業務」担当として着任・活動していますので、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

なお、私は9月1日より、新たに新設された「高千穂町移住定住コーディネーター」として、一滴の会で週3日勤務します。

引き続きよろしくお願します。

《移住相談実績》
- 移住相談件数　763件　年平均153件
  月平均　令和元年8.3件→令和6年20.2件(2倍)
- 住宅案内件数　234件　年平均　47件
  月平均　令和元年2.7件→令和6年　4.8件(2倍)
- 移住世帯数(予定含む)　50世帯　年平均10世帯
- 移住者数　(予定含む)　114人
  18歳未満34人、移住後に生まれた子どもの数7人

《移住交流に関する業務実績》
- 開催した交流会　10回

《空き家の調査や管理に関する業務実績》

調査に関する業務
- 空き家確保件数　51物件　年平均10物件
- 空き家片付け　30回　年平均　6回

管理に関する業務
- 定期的な換気・草刈り

佐藤　高功　Sato Takanori

高千穂町岩戸出身。
令和元年9月に着任。
ミッションは「移住相談、移住交流に関する業務、空き家の調査や管理に関する業務」。
NPO法人“一滴の会”に出向。
趣味は旅行と映画鑑賞。

NPO法人一滴の会の連絡先
☎ 0982-83-0111　✉ office@itteki.org